

3号機オペレーティングフロアの連続ダストモニタ計測値の事務局会議での報告終了及び公開場所の周知について

2020年7月30日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

- 毎月の廃炉・汚染水対策チーム会合／事務局会議（以下、「事務局会議」という。）にて報告している3号機原子炉建屋オペレーションフロア（以下、「オペフロ」という。）の連続ダストモニタ計測値について、以下に記載する当初の報告目的を終了していることから、次回事務局会議から当該計測値の報告を終了する。
- なお、以前より実施している当社ホームページでの当該計測値の公開は、引続き実施する。
（公開場所：<https://www.tepco.co.jp/hd/>）

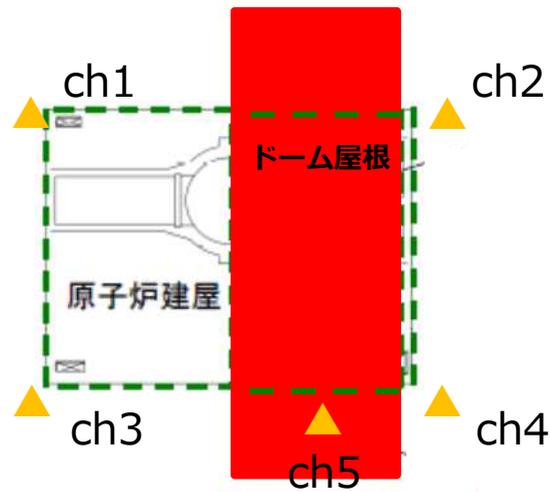
【当初の報告目的】

- ✓ 当該モニタを設置した2014年当時、オペフロは、水素爆発の影響でオペフロ面がむき出しであり、また、燃料取出し準備のため、ガレキ撤去、線量低減対策（オペフロ床面の除染及び遮へい体設置等）、ドーム屋根設置準備等の作業を実施していた。
- ✓ オペフロ作業においては、放射性物質が付着した粉塵が飛散する可能性のある作業日の作業前後に飛散防止剤を散布するとともに飛散防止剤の効果を確認するために当該モニタを設置し、放射性物質濃度を2014年10月より計測することとした。また、事務局会議でのご意見を反映し、2015年2月より当該モニタの計測値を報告することとした。

【その後の経緯】

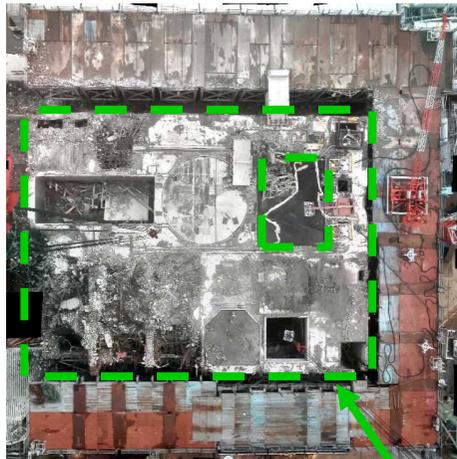
- ✓ 2016年6月にオペフロ床面の除染、また、2016年12月に遮へい体設置が完了したため、放射性物質が付着した粉塵の飛散する量が低減されたことから、遮へい体設置完了以降、飛散防止剤の散布については実施していない。（2017年1月の事務局会議でご報告。同会議後、公表済み）
- ✓ さらに、2018年2月にドーム屋根の設置が完了し、2020年6月現在、ドーム内では燃料取り出し作業を実施している。ドームの外側に設置されている当該モニタの計測値は、放射能高（1.00E-03）の値を十分に下回った値で推移している。（ドーム内の放射性物質濃度については、排気設備のフィルタを通し、出口側にて監視している）

【参考】 オペフロダストモニタ試料採取位置及び上空写真

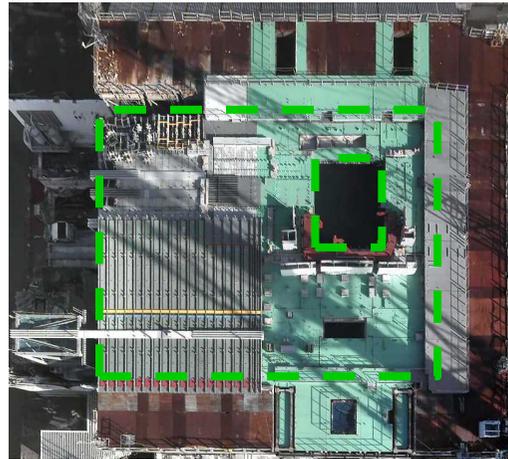


オペフロダストモニタ試料採取位置 (図中▲)

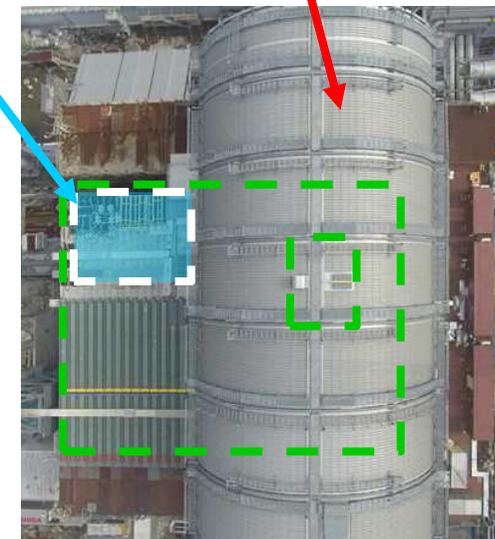
- ・ 原子炉建屋オペフロレベル (5階) : 4箇所 (Ch.1~4)
- ・ 原子炉建屋3階レベル : 1箇所 (Ch.5)



撮影：2014年3月3日



撮影：2016年12月12日

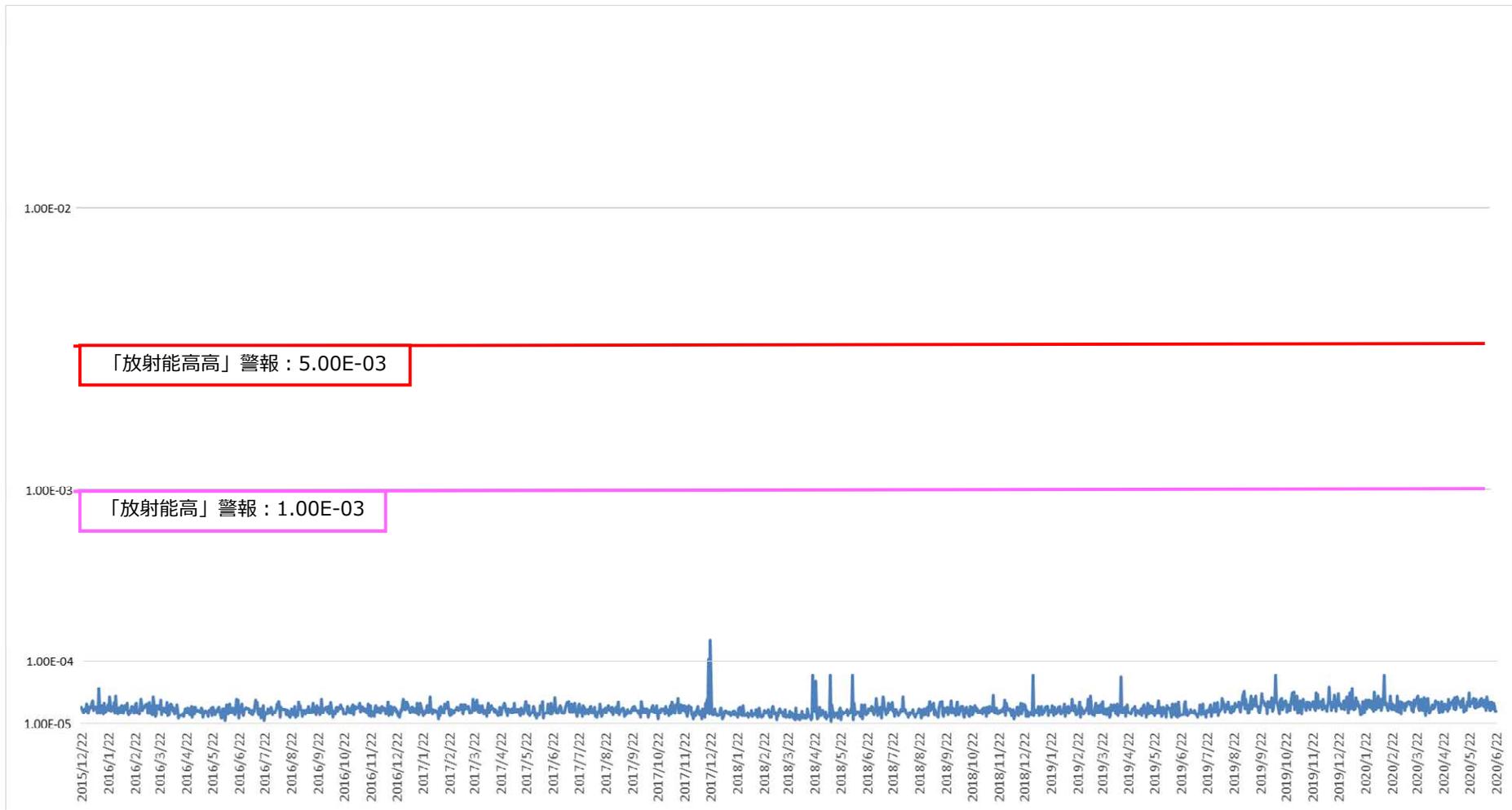


撮影：2018年2月22日

原子炉建屋及び遮へい体設置範囲 (SFP上除く)

【参考】 オペフロダストモニタ計測値

- 2015年12月22日～2020年6月22日現在において、「放射能高（高高含む）」警報値を十分に下回った値で推移している。



単位：Bq/cm³

2020年6月22日時点

※当該データは日々のオペフロレベル（Ch.1～4）の計測値（最大値）をグラフ化したデータ

【参考】 オペフロダストモニタ計測値確認方法



① 当社HP（東京電力HD）を開く。



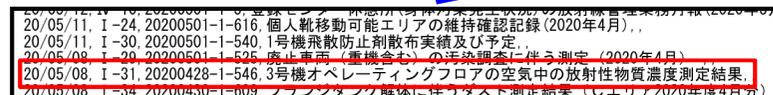
② 「福島への責任」、「データ」を選択。



③ 「福島第一原子力発電所における日々の放射性物質の分析結果」を選択。



④ 更新履歴（CSV）を確認し、当該データ公開日を選択（データ掲載箇所：I. 管理対象区域内外の測定（定期測定））。



CSVデータ (拡大)

⑤ 過去分について、③ 選択後、最下部「アーカイブ」を選択、線量率等の測定計画および結果アーカイブにて「確認対象年月」を選択後、④を実施。

